

オリガミアンだより

第77号

折り紙も趣味の世界 楽しさと自主性が大切です

2022年10月2日発行

あかね色にこだわる その1

ハートとサンタ (再録)

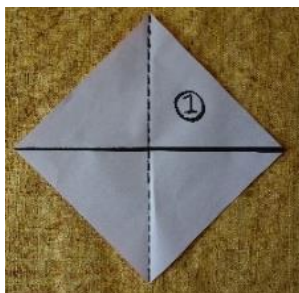
ひと口に「赤色」と言っても実に多様です。龍村織物の世界を描いた宮尾登美子の『錦』(中央公論)には 代赭(しゃ)、茜、紅絹(もみ)、朱、弁柄、赤銅、蘇芳(すおう)、韓紅(からくれなゐ)、牡丹、紅梅、胭脂(えんじ)など多くの赤系を表す言葉が並びます。古歌の「千早振る神代も聞かず竜田川 韓紅(からくれなゐ)に水くくるとは」(在原業平)は華麗で印象に残ります。

3歳の子どもから触れる折り紙ですが、各社とも赤色の多様性に沿った商品構成をしています。トヨーの単色おりがみシリーズを手にとると赤・ピンク系統では、あかね、あか、しゅ、さくら、うすピンク、ピンク、もも、べに、ローズなど9種類もあり、全体の7分の1近くを占めています。今回は、この中で「あかね」色が似合う作品・ハート、サンタ、かにを77号、78号の2回にわたって取り上げてみましょう。作品を通じて赤色の奥深さを味わってください。

ハート

ハートはごく簡単です。しっかり折れ目をつけておけば手品のようにバタバタと折れてしまいます。考案者をご存じの方はお知らせください

「オリガミアンだより」第27号から転用



対角線を山折りにした後、もう片方は谷折りにするのがコツ



山折りの対角線をはさむように赤い部分を折る



白い正方形部分を隠すように折り目を作る



中央部分の赤い部分をつまむと自然に④になる



上部と横の角張った部分を内部に折り込むと丸味を帯び、ハートの格好になる



横の部分は丁寧に内部に折り込む。ハートではこれが一番難しい

サンタ「オリガミアンだより」第26号から転用

サンタクロースは頭、胴の折りに入る前に1辺15㍍の折り紙を4分の1にカットしておく

気が早いようですが、そろそろクリスマス準備を。クリスマスの折り紙は、このサンタ プラス トナカイ、樅(もみ)の樹の3点セットを考えています

サンタクロース 頭の折り方



紙が大きいとグロテスクになるので注意



隣り合った2辺で白いモールの折る。幅は6㍍



ひっくり返し白いモールのない方を3分の1の大きさに折りたたむ



帽子のてっぺんを少し折り返す



帽子の先端を前に垂れ下げる。ヒゲを折って完成

サンタクロース 胴の折り方



白いモールは上下につくる。幅は6㍍



写真のように縦半分に折り、結果として中央部分に6㍍の白いモールをつくる。これで全ての白モールが同じ幅になる



襟部分を中央ラインよりやや下まで折り、さらに写真のように下方へ折りたたむ



頭はやや傾けて胴に糊付け。可愛いサンタさんの出来上がり

サンタ考案…石橋美奈子さん

10月例会日は4日、18日です。台風で中止となった9月分をそのままやります。会員向けにはペガサス、体験教室の出席者にはきつね、たぬき、うさぎを予定しています。月の美しい季節。満月デザインの色紙の前に飾るのも良いでしょう。後半は皆でペガサスに挑戦。